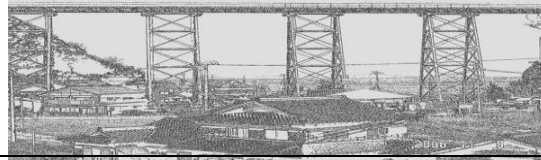


# 鉄橋

～心の架け橋～



第530号

令和4年1月号の1  
香美町立余部小学校

2022年 元旦

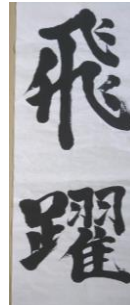


令和4(2022)年がスタートしました。旧年中は大変お世話になりました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。今年「壬寅(みずのえ・とら)年」だそうです。「壬」には生まれるという意味があり、「寅」には人前に立つ、成長するという意味があるそうで、あわせて『新しく立ち上がり、生まれたものが成長する』年だそうです。

ここ2年は、新型コロナウイルス感染拡大に伴って、大きく社会が揺れ動いた時期でもありました。健康・経済・生活行動について不安を感じながら手探りの状態だったように思います。教育活動もいろいろな影響を受けました。今年も引き続き、予防対策をしながら活動を進めなくてはいけないと思いますが、その中であつても何かに挑戦し、何かを生み出し、成長できる一年にしたいと思います。今後も変わらぬご支援をお願い申し上げます。

## 3学期始業式 1月7日(金)

「3学期は次の学年や中学に向けての学期という意味で、0学期という言い方をすることがあります。1月に行く、2月は逃げる、3月は去る、と言われるようにとても短い学期でもあります。4月からの進級・進学時に大きく『飛躍』してほしいと思います。ジャンプするためには、膝を曲げてエネルギーを蓄える必要があります。1・2学期を助走と例えるなら、3学期はその勢いを飛ぶための準備期間にあたると思います。



いろいろなことに挑戦し、今まで学んだことを生かし、努力を重ね、困難に打ち克つ忍耐力を身につけることが次の『飛躍』につながると思います。どうぞ、充実した3学期にしてください。」(始業式の中での話)

## 新春書初め会 一月二日(火)

三連休後の火曜日に「新春書初め会」を開催しました。今年も新型コロナウイルス感染に考慮して、各教室で行いました。背筋をびくと伸ばし、お手本をしっかり見つけて書きました。全員が緊張感が、張り詰めた空気をづくり、教室は静まり返っていました。一点一面に注意を払い、何回もお手本と自分の作品と

見比べていました。

何枚か練習した後には清書しました。

個人情報保護のため掲載を控えます

個人情報保護のため掲載を控えます

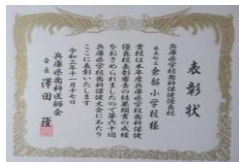
個人情報保護のため掲載を控えます

「学ぶ」の語源は「真似る」からきていると言われています(諸説あり)。小さなところにも目を配り、見落としがないように注意を払うことも書初めの醍醐味ではないかと思えます。

## 兵庫県学校歯科保健優良校



歯科優良校として表彰を受けました。ここ数年、顕著に歯の健康が維持されてきています。それが認められました。



子どもたちの歯に対する関心が高くなり、磨き方や食後の歯磨き習慣が定着してきています。歯科医・保護者・学校の指導や取り組みの成果として嬉しく思います。歯・口腔内の健康は全身の健康につながっていることを意識して、これからも取り組んでいきたいと思えます。

## コラム

2022年の幕開け。元旦、玄関から新聞を持って入る。元旦の新聞は、毎年思うことだが、ポリウムにあふれている。配達する人にとっては大変な朝であると思う。新聞をめくると紙面いっぱい企業等、一年のスタートにあたっての広告が飛び込んでくる。

「できたらいいな、その先へ。」(リョービ株式会社)「できることを、もつと。」(ヤマト運輸)「無理だと言われることしか、やるな。」(セイコーウオッチ株式会社)「よあ、いこう。次の新しい経験へ。」(園田学園女子大学)「ひろげよう。まだない視界を。」(キヤノン株式会社)「わたしたちは、できる。」(井クルマを走らせる550万人)

新型コロナウイルス感染や目まぐるしく変化する社会、加速度的に浸透する情報機器。見通しが持てない今だからこそ、各企業等は力強く歩もうとする姿を言葉として表現している。

「人と、人の、あいだ。」(集英社)「あたりまえじゃない朝」(積水ハウス株式会社)この2年、会話が制限され、ソーシャルディスタンスを強いられた。今までは当たり前であったことができなくなった。あたり前がいかに貴重であったか身に沁みだ。

元旦の新聞広告を改めてみると、しっかりと世相を反映した見出しとなっていることに気付かされる。社会の在り方が大きく変容したこの2年。たくさんの方を体験した私たちが、力強く前へ進む寅年であることを願ってやみません。